

ニュースクリップ News Clip

あ きなく ひと びと ふうくしま しょうこう にん
商きない工らす人びと ふくしま商・工・人

- P2 ヒストリーインタビュー
- P3 商工会の復興ビジョン基本理念
- P4 青年部・女性部だより
- P6 いいものmekke
まきばのジャージー
再起をかけ東京へ進出し姉妹店をオープン
- P8 元気印!!ズームアップ
- P10 Information 商工会だより
- P12 掲示板

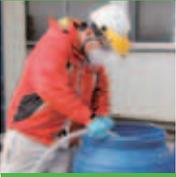
小規模除染排水処理サービスを始めた広田熔接工業の広田慎次さんと雄一さんを訪ねました。

ヒストリーインタビュー

安全な除染排水処理で復興スピードアップ!
須賀川市長沼・広田熔接工業

2013.3.11
Vol.360





安全な除染排水処理で復興スピードアップ!

小規模除染排水処理サービスを始めた広田熔接工業の広田慎次さんと雄一さんを訪ねました。

■御社を取り巻く経営環境はいかがですか?

弊社は昭和五十九年に創業して今年で二十九年目となります。当初より熔接加工を軸に、農業機器部品の一貫生産や特注品の加工の他、地元の土木業者・農業生産者様からの突発的な熔接修理の要望にも応える地元密着型の企業として努力してきました。

近年の世界情勢や新興国の追い上げにおけるコストカット等の影響は、当社も例外ではなく厳しい状況となっております。そんな折震災と原発事故が発生し、今回の新規事業「小規模除染排水処理サービス」を立ち上げることになりました。

■新規事業をはじめるとは何か?は何だったのでしょうか?

原発事故後、自宅や工場の放射線量が高いことが分かりました。しかし「除染」という初めて聞く言葉に対して、どうすれば良いのかが全く判らないことから、新聞やインターネット、国や県の指針などの情報収集を始めました。

業を掴む思いで、日本EPA基準工法工業会の除染講習を受け、除染で発生する汚染排水の回収と凝集沈殿剤による凝集処理を適切に行えば、安全な排水が可能だと

いう事を知りました。運良くその講習の中で、高効率の凝集沈殿剤に巡り会い、同割製造会社とのやり取りの中で、更に除染排水処理に特化した凝集沈殿剤の開発協力もさせて頂くことになりました。

その後、福島県主催の除染業務者講習を経て、自宅の除染において砕石砂利等を洗浄する方法を思いつき、平成二十三年度福島県除染技術実証事業において、個人として唯一採用されることになりました。排水処理の部分においては、排水中ND(計測下限限界値)の結果を得て、簡易な排水処理装置ではありますが良好な結果が得られたことから、当社保有の板金溶接技術を活用して、同実験に採用された排水処理装置をベースに「小型除染排水処理装置」を完成するに至りました。

今回始めた新事業「小規模除染排水処理サービス」については、地元商工会の支援を得て、平成二十四年六月に福島県より経営革新計画の承認を得ることができました。

■小規模除染排水処理サービスの詳細と取組状況を教えてください。

放射性物質の除染工程で使われている除染排水浄化処理装置は比較的大型なものが多く、小回りが利かないために住宅密集地などで

の除染作業には向かない傾向があります。一方、当社が開発した除染排水処理装置は、中型トラックに積載可能なサイズまで小型化を図り、機動性の向上と必要人員の最小化を実現するとともに、排水中に含まれる放射性物質同位体を短時間で除去することを可能にしました。これにより、様々な除染現場において除染排水処理を可能にするだけでなく、低コストでの運用が可能となりました。

今回の小型除染排水処理装置が完成する以前より、高効率な凝集沈殿剤の処理実験を繰り返し行い、平成二十三年度中は当社所在地である須賀川市の除染関連担当部署へ実験排水を持ち込み、安全な排水が可能である数値的証明を得て、安全排水のデータを蓄積しております。

昨年は、自らがPTA会長を務める幼稚園の除染作業へボランティアとして参加、様々な条件においての処理実験を繰り返し行い、今年からは、地元除染業者(土木業者)様と業務提携を結び、面的除染における排水業務を担当しております。

現在、当社の加工技術を用いて、小型除染排水処理装置の更なる小型化、効率的かつ安全に作業ができる小型砕石土壌分離機や汎用型排水吸引機を考案中です。

■経営に対する信念と今後の事業展開についてお聞かせ願います。

最近、除染排水の未処理流出等の問題について報道されましたが、当社では除染をイメージした初期段階から、その課題解決に取り組んでまいりました。

既存の熔接加工事業はもとより、除染排水処理業務に関しても地元密着を信念として掲げ、除染排水処理装置サービスの向上を日々考え、除染排水を安全な状態にして排出することで、子供たちが外で遊べる当たり前の生活を取り戻せるよう、復興のために日々発案・開発に取り組んでまいります。

県内各地で行う除染のお役に立てればと考えておりますので、除染排水でお困りの場合は、お気軽にお問い合わせ下さいませますようお願い申し上げます。

企業概要

企業名 広田熔接工業
 代表者名 代表 広田慎次
 (除染排水処理装置サービス担当 広田雄一)
 住所 〒962-0122
 福島県須賀川市木之崎字岩崎197-4
 TEL 0248-68-2376
 FAX 0248-68-2379
 URL <http://hirotayousetu.fukushima.jp/>
 主要事業 ・金属製品製造(農機具部品・特注品等)
 ・除染作業における排水中の放射性物質除去(新事業)

押田さん見事「優秀賞」獲得!

— 青年部全国大会開催される —

平成25年2月6～7日、徳島県徳島市「アスティとくしま」において、第14回商工会青年部全国大会が開催されました。主張発表大会に青年部長会議も兼ねた全国大会。押田さんの主張発表出場も重なり、本県からの参加者は例年に比べ3倍以上の35名。全国から約2,400名が徳島の地に集結しました。

大会中の表彰では、佐竹県青連副会長が、人(ヒューマン)づくり部門の代表授与を受けられました。これは、広い視野・高い視点をもって日常の青年部活動(特に県青連活動)に積極的に取り組み、特に、人材育成に力を注ぎその活動を活性化させるとともに、対外的にも高い評価を得、地域及び青年部のよき伝統の継承に貢献した青年部員へ与えられる賞で、東北北海道ブロックの中でただ一人の受賞となります。

また、2日目の青年部長会議では、山川県青連会長が登壇し、東日本大震災にて被災した岩手県、宮城県と共に、風評被害をはじめとした本県の現状についてスピーチされました。

主張発表では、押田洋平さん(矢祭町商工会青年部)が、東北北海道ブロックの代表として、トップバッターでステージに登場。時間は10分8秒と完璧な発表でした。審査委員長からは、植樹活動(フードマイレージ事業)を通じて地域住民の環境に対する意識変化を芽生えさせ、青年部と地域住民のコラボレーションによる「間伐材活用プロジェクト」を立ち上げるまでの活動を高く評価すると共に、非常に感情の籠った素晴らしい発表であったとの講評がありました。結果は、見事「優秀賞」。おしくも最優秀賞は逃しましたが、主張発表を通じ、全国へ矢祭町の、そして福島県の現状や復興への取り組みを大きくPRする押田さんの勇姿に誰もが感動しました。地区大会から約1年間、本当にお疲れ様でした。



主張発表者の押田洋平さん(矢祭町)



人(ヒューマン)づくり部門受賞の佐竹源弘さん(会津坂下町)



参加者の皆さん

— 女性部復興支援事業 —

笑顔・朝顔・根付かせよう！ 福島復興PR in 石巻

【実施商工会】 広域事業—桑折町・松川町・国見町・伊達市・本宮市

【幹事商工会】 桑折町商工会女性部



桑折町商工会女性部は、昨年度視察した山形県大石田町商工会女性部が、東日本大震災により甚大な被害を受けた石巻市の皆様へ心の拠り所になればとの思いから朝顔の苗を配布してこられたというその活動に感銘を受け、当女性部でもグリーンカーテン事業をスタートさせました。

今年度は、この事業に賛同いただいた東北5商工会女性部で事業を実施することになり、各地区の仮設住宅等に住む方々にグリーンカーテン事業を実施することで緑の癒しの効果で元気回復に繋げて欲しいという思いと、石巻かほく商工会女性部と交流を持つことで被災地間での復興に向けた情報共有による相互支援や広域的なネットワーク構築を目的に事業を実施しました。



平成24年4月から6月にかけて、「フウセンカズラ」の種の植え付けや、大石田町商工会女性部から提供していただいた「アサガオの苗」を仮設住宅などに配布し、7月から9月にかけて、「絆げよう！グリーンカーテン」ECOチャレンジと題してアンケート調査を行いました。調査結果の中には、“アサガオを見ていて気持ちが和らいだ”“花や緑の葉がとても涼しげで良かった”との意見があり、今回の事業がきっかけとなり植物育成に興味を持ったと言う方が沢山でき、話題づくりにも繋がり近所や家族の絆も深まったのではないかと感じています。

平成24年10月24日には、石巻市に出向き、5商工会の観光PRチラシと朝顔の種をセットにして「石巻まちなか復興マルシェ」「道の駅(上品の里)」「石巻かほく総合センター」の3箇所にて配布を行い風評被害払拭のため“福島の安心・安全PR”をしました。

また同日には、石巻かほく商工会女性部と合同研修会を開催し、4班が2テーマに分かれ分科会を開き意見交換を行いました。参加された部員間には、今回の交流を通し友好女性部として絆が生まれ、心の復興や活気に繋がったと思われます。

今後も、事業を継続し“女性部らしさ”を生かして、地域のコミュニティの推進役として事業を展開して行きたいと思えます。





東日本大震災 復興応援プロジェクト版

伊達市の山あいにある行列のできる
アイスクリーム店。原発事故で売上が激減したが、
再起をかけ東京へ進出し姉妹店をオープン。
福島で行列のできたジェラートとソフトクリーム
がよみがえる!!



福島の本店(伊達市)を
預かる弟の雄作さん。
いつも笑顔で迎えてくれます。
(とても癒されます(*^_^*))

福島本店内の
イトインコーナー



福島本店で人気のソフトプレッツィ

ソフトクリームとエスプレッソコーヒーの
苦みがマッチした大人のおいしさ。イト
インコーナーで味わえます。
ドリンクメニューは、コーヒー、カプチーノ
などもあります。



アイスクリームは
テイクアウト、全国地方
発送も可能です。

福島の本店で扱うアイスクリームは放射能検査を実施
して自社の原乳を使用。基本のミルクに新鮮な素材を
加えた、えだまめ・とまと・ゆず・紫いもなど季節に応
じたバラエティーなメニューが常時20種類ほどそろつ
ている。価格はミニカップ(200円)・シングルコーン
(250円)・ダブルコーン(300円)とサイズが選べる。その他
ソフトクリーム(ミルク味のみ)・シャーベット(2月~10月季節限定)ソフト
クリームとアイスが同時に味わえるソフト&アイスクリームなどがあり、
コーヒー、カプチーノ、カフェラッテなどドリンクメニューも用意。



自然のおいしさ まきばのジャージー

伊達市霊山町

伊達市霊山町石田字川面1-1
TEL 024-589-2375 FAX 024-589-2376
営業時間 8:30~18:30(夏季)
8:30~17:30(冬季)
定休日 年中無休



イタリアンジェラートの店 「セレーネ」

東京品川

エプソン品川アクアスタジアム入り口隣り
東京都港区高輪4-10-30
TEL 03-5420-0575
<http://www.selene-gelato.jp>
営業時間 エプソン品川アクアスタジアム営業と同じ
定休日 年中無休



姉妹店

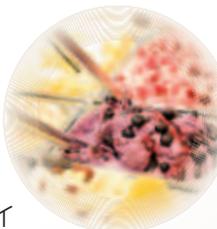
イタリアンジェラートの店「セレーネ」

セレーネはギリシャ神話の月の女神を意味し、エブノン品川アクアスタジアムドルフィンパーティー内にある、幻想的な深海の中を回るメリーゴーランドの隣で、しっとりとした暗がりの中に店舗がまぶしく佇む様子は、まるで月の女神のようである事から命名した。福島の本店では現在も自社牧場の生乳を使用しているが東京では山梨と長野の牧場から仕入れて販売。店舗のあるエブノン品川アクアスタジアムの客層は親子連れが多いことから安心していただくため悩みぬいた決断だった。



濃厚で栄養価の高いジャージー牛を使用し、添加物は一切使わないなど材料・製造にこだわったジェラートは一日4000個を売り上げた人気の商品でさっぱりしていて濃厚な味。是非一度試していただきたいおすすめの商品。

メニューはミルク・ローズラズベリー、抹茶、ラフランスなど季節に応じてメニューを変え常時20種類をそろえる。価格はシングル400円・ダブル450円・トリプル550円このほかソフトロイヤル400円・ワッフルコーン500円・なども用意。ドリンクはブレンド350円・カフェラッテ450円・オレンジジュース250円など。



入賞

第33回2012イタリア国際ジェラートコンテストで入賞

2012年1月にSIGAイタリアジェラート協会が主催する60年以上続くコンテストに腕試しで出場し、コーヒーがテーマの課題部門で、日本人でただ1人入賞した。入賞したことで味に自信を深め新たな舞台で前向きに進んでいる。



兄弟二人三脚

経営者の片平晋作さんは、国道115号線沿いでアイスクリーム店「まきばのジャージー」を経営。震災後、伊達市にある本店を弟の雄作さんに任せ東京品川へ姉妹店を出店し復興に向け頑張っている。



平成5年に片平さんの両親が「まきばのジャージー」をオープンさせた。相馬市玉野地区の牧場で濃厚なミルクを生み出すジャージー種の乳牛約四十頭を育て、その原乳を使いアイスクリームを製造。乳牛の王様ジャージー牛からしぼった新鮮な牛乳をベースにしたジェラートは濃厚で美味しく口コミで瞬間に人気になり、夏場には一日で四千個も売れ、行列ができていた。父親の病気を機に、兄弟で会社を辞め故郷に戻り力を合わせて牧場と店を切り盛りしてきた。しかし原発事故で状況は一変した。福島県産の原乳が出荷停止となり一か月休業。その後店は再開したが、遠のいた客足は思うように戻らなかった。

風評にくじけず再起をかけ東京進出

このような中、被災地の飲食店などを支援する*ざくろ坂プロジェクト(世話人・ノンフィクション作家 吉永みち子さん)の支援第一弾に選ばれ、2011年8月5日から同14日まで品川のホテルで営業し好評を博した。(9日間で4400人が訪れた)「うちの味は東京でも通用する」。手応えを感じ、姉妹店の開店準備に取りかかった。自分で生産した原乳で勝負したい気持ちもあったが、風評被害を防ぐため品川の店では山梨県や長野県などのジャージー種の原乳を使うことを決め、2012年1月14日姉妹店イタリアンジェラートの店「セレーネ」を無事オープンさせた。

福島の味を全国へ

これまで紆余曲折があったがここまでやってこられたのは多くの方に支えられたおかげ。震災後、福島の店で「甘いものを食べて久しぶりにホッとした」というお客様の笑顔が忘れられない。以前よりジェラートで多くの方を笑顔にしたいと強く意識するようになった。そういう場を東京でも作っていければ幸い。そしていつか自社の原乳で福島の味を広めたいと思いを語った。

*ざくろ坂プロジェクト

東北の被災地で復興のために立ち上がろうとしている人々と、応援したいと思っている都心に住む人々の「ヒューマンクロス」として役立てることはないかという思いから始まった。

名前の由来はJR品川駅高輪口から第一京浜を挟んで西側に上る400メートルほどの坂道が「ざくろ坂」同坂に面したグランドプリンスホテル新高輪の一角のスペースに出店することから。

呼び掛け人は、岩見隆夫さん(政治評論家)、内館牧子さん(脚本家)、大澤孝征さん(弁護士)、小林幸子さん(歌手)、田部井淳子さん(登山家)、倍賞千恵子さん(女優)で、世話人は吉永みち子さん(ノンフィクション作家)が勤める。

広域指導センターだより

ズムアツツ。

元気印

県内4地域の広域指導センターから、地域でがんばっている会員企業をご紹介します。
みなさんの経営のヒントになるお話もたくさんいただきました。
是非、ご感想を福島県商工会連合会までEメールにてお寄せ下さい。(f-wing@do-fukushima.or.jp)

県北

福島県商工会連合会

「いつもと違う
あなたに会いたい」



ヘアクリエイト スウィーツ
代表者 齋藤 義紀氏

〒960-1301
福島市飯野町字原田59-13
TEL 024-562-3912
営業案内 火曜日～日曜日
営業時間 9:00～19:00
定休日 月曜日

■お客様にあったヘアメイク

ヘアクリエイト スウィーツは、福島市飯野町に店舗を置く美容室です。お客様は町内、市内のほか県外からも来店する人気店となっております。県内でも珍しい、マイナスイオンの蒸気を利用したヘアケア、パーマ等のダメージを減らす機器を導入しており、お客様に大変好評です。店主の齋藤さんは美容専門学校を卒業後に福島市内の人気店で9年間修行をし、平成17年に創業し今年で8年目となり、同じ美容師の奥様と2人で営業をしています。店主の齋藤さんは福島県口レアル大会で優勝し、全国大会では優秀賞を受賞するなどその腕に自信があります。また、商工会の専門家派遣事業を利用し中小企業診断士による経営改善をしていただいた結果、今後の戦略、様々な問題点がわかり、現在は先生にご指導いただいた経営改善策を着実に進めています。さらに、齋藤さんは地元のボランティア等にも積極的に参加し、東日本大震災の時は、断水で水が出ないなか地元の有志の方から水をわけていただいた、シャン

プーの無料サービスを行うなど地元のために活動しています。



■いつも頼りになる商工会職員

商工会には、税務指導、金融の相談などでお世話になっております。場所も近所なので身近なところがいいですね。私のところにはいつも若い職員さんが指導してくれるので、親近感がわいて何でも相談してしまいます。東京電力福島原子力発電所の事故で賠償請求を行うか迷っていた時も親切にご指導いただき、非常に助かりました。今後も身近な商工会でいて欲しいと思います。

県中・県南

中通り広域指導センター

「買い物難民を救え」



矢吹デイリー
代表者 矢吹 俊勝氏

〒963-4205
田村市船引町遠山沢字反田64
TEL/FAX 0247-85-2550

■経営支援事例【経営指導員：佐久間剛】

「移動販売車がまいました！」小型トラックから元気のいい声が聞こえる。荷台には惣菜・牛乳・たまごなど日常に欠かすことのできない食品が並び、お年寄りが買い求める。



田村市船引町に事業所を置く矢吹デイリーは食料品の移動販売を行っている事業所です。当地区も少子高齢化や過疎化が進み、買い物場所や移動手段などの日常生活に不可欠な機能が弱体化している地域です。こうした現状から矢吹デイリーは「高齢者のお役に立つことができれば」また「自分の経験を活かしたい」と商工会に創業の相談がありました。

創業にあたり「創業計画」の策定支援、専門家派遣事業を活用し顧客獲得・販路拡大のための商品構成・宣伝方法などさまざまな支援を受けました。

創業計画の策定にあたり経営方針・将来的なビジョンが明確になり、専門家の支援から地域の年齢別人口・高齢者世帯エリアが選定でき商圏・顧客ターゲットを絞り込むことができました。その分析から高齢者向けの商品構成・有効な宣伝方法を図ることが

でき、また「高齢者の見守り」・「安否確認」・「御用聞き」などの付加価値サービスを図り社会的な役割を果たしながら地域に根ざした事業を展開しております。

原発事故直後はいち早く食品を届け、安否確認を行い、その活動はメディアからも大きく取り上げられました。現在も仮設住宅に訪問し住民の交流の場として地域には欠かせない存在となっております。

■事業所コメント【事業主：矢吹俊勝】

地元行政より、買い物場所や移動手段を持たない高齢者等の話を聞き、私の長年スーパー業界で働いた経験を活かし「何かお役に立てないか」と商工会の佐久間経営指導員に相談したところ事業計画・資金繰り・各種届出など多くの支援と指導を受けました。早速、平成22年6月に「買い物難民を救え！」を経営方針に食料品の移動販売「走るコンビニ」を開業いたしました。開業後間もなく原発事故が起こり、スーパー・コンビニが休業・ガソリンも不足する中、それでも「お客様は待っているはず」と商工会・地元企業の支援を受け充実した商品を確保する事が出来ました。多くのお年寄りが避難できずにいる中、食料品を届ける事ができ大変感謝されました。現在は仮設住宅にも販売を広げ安否確認・地域の防犯も兼ねて毎日、巡回しております。

会津

会津広域指導センター

「イワナの里の商品開発」



民宿山楽

生産者 大山 大輔氏

〒967-0333

福島県南会津郡南会津町湯ノ花1077

TEL 0241-78-2201

FAX 0241-78-3785

■イワナソフト燻製を考案(鈴木指導員談)

南会津町館岩地区の湯ノ花温泉街に位置する民宿山楽は、茅葺き屋根が特徴の



風情ある民宿です。館岩はもともと「イワナの里」として売り込んできており、当館でもイワナ料理は欠かさずお客様に塩焼きとして提供しておりました。そこへ東京で和食の創作料理に携ってきた大山大輔さんが後継者として戻り、この館岩地域を知ってもらうため特産品づくりをしたいと5年前考案したのが「イワナソフト燻製」です。近くの養殖場から骨の柔らかい2~3歳のイワナを仕入れ、誰でも食べられるよう水分を多く含ませソフトな食感に仕上げているのが特徴です。炭火で素焼きにした後、自ら設計した燻製機で樹齢30年物の山桜を通常の1/4程度の時間で燻し、サクラチップと黒胡椒の香りの良いソフト燻製は出来上がります。この燻製を当館の夕食で提供したところ「お土産にしたい」との声が多く、2年前から一般客向けの販売も行っております。

■販路拡大支援を期待(大山大輔氏談)

ここ数年の渓流釣りの人口減少に加え、東京電力の原発事故に伴う風評被害により観光客が激減する中、「イワナの里」としてもう一度脚光を浴びるように地域又は商品の発信は急務となっております。

現在、県内外の物産展への出品はもちろん、会津の宿泊施設や飲食店で利用してもらうため、地元食材を使った料理の開発などを目的とする会津美食研究会への参加や、各地域で行っている料理講習会で燻製料理のアレンジを学んでおります。

商品化にあたり、商工会の専門家派遣事業でラベルデザインのご指導を頂きました。今後は、当面一般客向け販売を継続しながら、商工会の専門家派遣事業による販路拡大支援を頂き、一方ではイワナ以外の燻製料理の開発も視野に入れ事業展開して行きたいと思っております。



浜通り

浜通り広域指導センター

「滝桜」近くの 仮設店舗で恩返し」



Yショップ・ヤマサ

代表者 佐藤 英人氏

〒963-7713

田村郡三春町大字柴原字柴原80-1

TEL/FAX 0247-62-3282

営業時間 8:00~18:00

定休日 月曜日

■住民の利便性と絆の維持

この度、ご紹介致しますヤマサの事業主佐藤英人さんは、昨年5月に退任されるまで当商工会の会長を15年間務められました。酒・たばこ・衣料品・履き物・雑貨小売、ヤマザキYショップ、クリーニング取次と村内に無くてはならない店を経営されておりましたが、一昨年の震災と東電事故に伴い全村避難となり村外へ避難することになりました。そのような中、いち早く仮設店舗による事業再開に尽力頂き、4月中旬には三春町に村の仮設住宅設置の計画があるとの情報を受け、国の被災者支援策の中小機構による仮設店舗等設置事業の無償建設事業に村を通じて申込みました。5月には三春町の三春ダム周辺に9カ所の応急仮設住宅団地を設置する計画を受け、規模の大きい団地3カ所に7店舗設置することになりました。福島県・三春町・村役場など関係機関と調整を重ね11月のオープンとなりました。仮設暮らしの住民の利便性を図り、帰村時までの住民との絆の維持を目的とし、採算度外視で運営されているのが現状です。

■安心して頼れる「商工会」

原発事故により三春町の『滝桜』に近い旧中郷小学校仮設住宅内に、関係機関のご支援により仮設店舗を設置して頂き一年二ヶ月が過ぎました。



住宅内にはお年寄りが多く、中心商店街までの4kmの距離はかなり無理があるため、少しでもお役に立つことが出来ればという思いでミニコンビニ的『ヤマザキショップ』の他に日常衣料品やクリーニング取次店を併設し、故里と一緒に帰るためお互いに励まし合いながら頑張っております。

数十年來のお得意様に、これまでの恩返しも含めて接客にまた様々なお付き合いに打ち込めるのも、各種事務書類作成や相談先として安心して頼れる「商工会」の存在に改めて感謝致しております。

Information

商工会だより

信頼され必要とされる商工会を目指して

松川町商工会



松川町商工会長の石井勝美です。

山が連なり、麓からは水原川が町の中央部を東西に、東端には阿武隈川が南北に流れています。また、周辺部には、水田が、傾斜地には畑や山林が広がるなど、自然に恵まれた環境にあり、商工会付近には、江戸時代の奥州街道の宿場町として栄えた「八丁目宿」と呼ばれる町並みが残っており、北部には、福島大学、県立医科大学などの高等教育機関も整備されています。

五月には、水原の「クマガイソウまつり」が開催されます。クマガイソウは県の絶滅危惧種に指定され、群生地としては全国一の規模を誇り、その神秘さと可憐さが多くの人々を魅了しています。



あじさい小路「こども絵画コンクール」

七月には、土合館公園で商工会主催の「あじさい小路」が開催されます。

今年度は、福島の元氣は松川からをスローガンに、七月七・八

日の二日間実施しましたが、地元ではすっかり梅雨の風物詩となっており、地区内外からたくさんの方々が来園者があります。公園内の約一・七kmの遊歩道を散策しながら約四五〇〇株の色とりどりのあじさいを楽しむことができます。



また、小学生を対象とした「あじさい小路絵画コンクール」を例年実施していますが、今年度は二七四点の作品応募がありました。今後とも、これらの事業を通じて、自然の美しさ、地域資源の大切さなどを次代を担う子ども達に伝えていきたいと考えています。

「二〇〇円商店街」事業

近郊の大型店への流出や震災の影響もあり町内商店利用者の低下が目まぐるしく、購買力の低下やスタンプ事業低迷化を招いている現状と、飯館村からの仮設住宅入居者の皆さんに松川町の商店や商店街を知ってもらおうと、「補助金に頼らずともできる販売促進事業」として実施したのが「二〇〇円商店街」事業です。

この事業は新しい商店街活性化の手法として全国的に注目されており、当会商業部会においても、二十三年度に三回の勉強会を実施後、二十四年度に「まつかわ百縁笑店祭」として、二回(四月・十月)の二〇



〇円商店街事業を実施し、以後、勉強会も三回実施しています。なお、一回目の参加店舗は二十九店、二回目の参加店舗は三十三店と増加しており、参加店の方々はユニークな二〇〇円商品をそろえて、町内外からのお買い物を迎えられています。

「仮設住宅居住者等安否確認・買物代行等商店街」事業

昨年度は、国の補助を受けて商店街実践活動事業「仮設住宅居住者等安否確認・買物代行等商店街」事業を実施しました。

松川町には飯館村から約七〇〇名の方が避難されています。町の商店街や病院、金融機関、避難場所、名所などを紹介した生活支援マップを作成・配布しました。また、定期的に仮設住宅の高齢者を訪問し、安否確認を行いながら、商店街情報や地域の行事イベントなどの地域に密着した情報を発信しました。また、要望に応じ買物代行業を実施するなど仮設住宅者の安全・安心な生活支援を行いました。一人の緊急時の対応もなく、一件のトラブルもなく事業を終了することができました。本事業終了後も、商工会では、避難された皆さん

の一日も早い生活再建や風評被害等で疲弊している地域商店街の賑わいの創出・地域活性化に向けて最大限努力して参る所存であります。



「奥州街道八丁目宿ぶらぶらめぐり」事業

復興支援策である福島市こでらんに博事業として松川バビリオンでは、十一月十七日に「奥州街道八丁目宿ぶらぶらめぐり」を開催しました。

松川の八丁目城址やめがね橋などの史跡や地元特産品などをキーワードにしたまち歩きツアーでしたが、天候が良くない中、地区内外から二十代から七十代までの幅広い年齢層で、約二〇〇名の参加応募がありました。商店街では店先に「歓迎」のポップを掲げ皆様をお迎えしましたが、参加者は地酒やスイーツなどを楽しんでいました。こでらんに博事業は、二年間続く事業なので、地域の活性化に是非繋いでいきたいと考えています。



青年部事業では、まつかわ親子ふれあい祭りやエコキヤップ回収運動、今年度は沿線スマイルプロジェクト「S」に手を振ろう！事業などを行いました。多数の地域の方々や接することにより、地域での青年部の存在感を示すことができたものと考えています。

女性部事業では、社会福祉施設への「タオル・カレンダー」寄付や花いっぱい運動を、偶数月の第二火曜日には廃品回収などの地域に密着した地道な活動を実施しています。

東日本大震災の発生から早いもので二年が経過しましたが、まだたくさんの方が避難生活を余儀なくされ、原発事故の収束も未だ予断の許さない状況にあります。

地区内の除染作業も始まりましたが、商工会では、生活環境の再生や地域復興のために積極的に関わって参る考えであります。

また、役員一同、一丸となって商工会の果たす役割を再認識して、会員の皆様から信頼され必要とされる商工会を目指し、頑張って参る所存であります。

Information

商工会だより

事業再生と故郷に帰還するために

双葉町商工会



双葉町商工会長の田中清一郎と申します。東日本大震災と原子力災害により、避難生活を余儀なくされたから、一年十ヶ月が経過致しました。震災直後よりご支援を戴きました県内各商工会並びに全国関係各所の皆様には厚く御礼申し上げます。

私達は、日々仕事、生活、健康等あらゆる面で精神的不安を抱えて暮らしております。当会会員の半数以上は未だ事業再開の目途も全く立たず、また、地域コミュニティーが分断される等、企業存続の危機に瀕しております。このような状況が長期化すれば、永年培ってきた経営資源や経営環境が失われ、休業、廃業に繋がる懸念されます。

こうした状況の中、当会では双葉町の行政並びに事業者と連携し、町民への生活支援物資の供給や、会員・非会員を問わず、制度資金に係る相談指導、東京電力損害賠償請求支援を行ってまいりました。現在は、これまでに以上にきめ細かな支援を実現するべく、二本松市を拠点とし、県外では埼

玉県加須市・茨城県つくば市、県内では福島市・郡山市・会津若松市・白河市・いわき市等で役職員による巡回指導相談窓口を設置しております。会員同士が触れ合う機会を設けることで、地域コミュニティーの再生を図ると共に、現状把握や意見・要望を集約し、今後の活動に活かしてまいります。

地域活動再生のためには、原子力発電所事故の収束や中間貯蔵施設建設予定地の選定等、問題が山積しておりますが、今後とも会員企業の事業再開支援また、損害賠償支援を最優先事項とし、ふる里双葉町の再生に向け、役員一丸となり、復旧・復興支援に全力で取り組む所存であります。



双葉町ダルマ市

青年部

一月十二日～十三日の二日間、「双葉町ダルマ市」に参加協力致しました。双葉町の伝統行事であるダルマ市は、夢ふたば人の主催により、昨年引き続きいわき市南台応急仮設住宅イベント広場にて開催されました。双葉町の商店による双葉ダルマや飲食物の出店の他、ステージでは町民による発表会等、様々なイベントが開催されました。会場には多方面から多くの来場者があり、あちらこちらで再会を懐かしむ姿が見受けられました。

今後も地域復興の足がかりとなるよう、部員一丸となつて活動してまいります。



事業再開会員紹介



ブイチェーン(有)マルマサ食品
ふたばふれあい処

〒971-8168
福島県いわき市南台 3-1-1
TEL 0246-38-7253



欧風創作菓子 ふたば茶亭

〒971-8168
福島県いわき市平下窪字屋越 51-1
TEL 0246-35-6480



B 家具アウトレット
ABC マツモト仙台富谷店

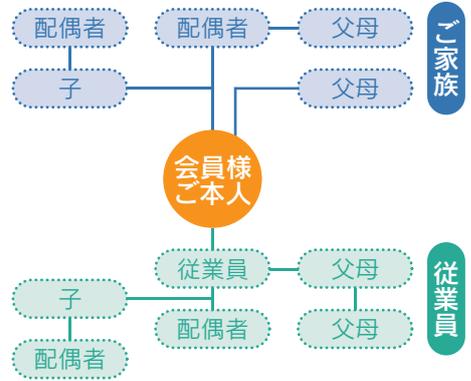
〒981-3304
宮城県黒川郡富谷町ひより台 2-41-1
TEL 022-343-7809



商工会の会員福祉共済は
商工会員様、従業員様のケガを補償する制度です！
月額2,000円からご加入いただけます。
「病気の補償」「がん重点補償」も追加することが出来ます。

**お問い合わせは
最寄りの商工会まで！**

福祉共済にご加入いただける方



※その他、「同居かつ扶養している」祖父母・兄弟姉妹・孫も対象となります。加入年齢は、満6歳～80歳です。

福島県・商工業者のための放射性セシウム検査支援事業

今、日本でいちばん
安全に気を使っているのは、
福島産の食品です。

福島県内商工業者・加工食品
**放射性物質
検査実施中!**

福島県内89商工会・福島県商工会連合会

加工食品の放射性物質検査を実施中です

県内商工会では、食品等の安全・安心を確保し、消費者の不安解消を進めるため、福島県補助事業「商工業者のための放射性セシウム検査支援事業」を活用して、地域に密着した形で科学的な裏付けを与える「加工食品の放射性セシウム検査」を行っております。平成24年4月1日より、食品中の放射性物質に関する新たな基準値が定められており、それに対応した検査所を県内26箇所に設けました。

商工会で加工食品の放射性物質検査を受けられます

県内の各商工会広域連携グループ(22グループ・89商工会)のうち、26商工会に検査所を設置しました。県内事業者の方であれば、お近くの検査所で加工食品の放射性物質検査を受けることができます。

- 検査対象品目** 一般食品のうち茶を除く加工食品です。飲料水、牛乳および乳児用食品は、より厳しい基準値のため本検査の対象外です。
- 検査対象物質** 放射性セシウム(セシウム134及びセシウム137)
- 検査を受けられる方** 県内で事業を営んでおられる方が対象となります。一般の方はご利用できませんので、あらかじめご了承ください。
- 申込方法** お近くの商工会までご連絡下さい。検査品の前処理方法説明や容器等の受け渡しのため、窓口受付をお勧めしております。
- 各放射能検査所と検査結果の確認** 以下のURLよりご確認いただけます。
<http://www.food.do-fukushima.or.jp/result-information.html>

平成二十五年三月十一日

発行／福島県商工会連合会
024(5255)3411
発行責任／阿久津文作
〒960-8053 福島県福島市三河南町1番20号(コリスセンター内)
f-wing@do-fukushima.or.jp
http://www.f-do-fukushima.or.jp/

